

USB/eSATAスケジュールバックアップモジュール使用方法

USB/eSATAスケジュールバックアップモジュールを使って、NASと外部ハードディスク間で共有フォルダーをバックアップ/復元できます。

※ACL(アクセス権)情報は、共有フォルダーと別に保存されます。その為、バックアップ先(外部ハードディスク内)のデータにACL情報は反映されていませんが、NASにデータを復元した時にはACL情報も同時に復元されます。

対象製品

Thecus NAS(ヤノモデル/ファームウェアのバージョン:v3.05.02.4)

オリジナル版との違い

- ・ タスク数の制限を5個から20個に拡張しました。
- ・ タスクのダウンロード/アップロード機能を追加しました。
- ・ 「USB/eSATA機器の取り外し」ボタンを追加しました。
- ・ 日本語表示になりました。

バックアップ先のハードディスクの準備

- ・ バックアップ先のハードディスクはNTFSでフォーマットされている必要があります。
- ・ バックアップ先のハードディスクの空き容量は、バックアップ元のNASのデータ容量と同じ、もしくはそれより大きい必要があります。
- ・ Thecus NAS(ヤノモデル)【ファームウェアVer.3.05.02.4】はGPTパーティションのUSB/eSATA機器に対応していません。MBRパーティションのUSB/eSATA機器(2TB制限)をお使いください。
- ・ バックアップ先のハードディスクを起動完了後のNASのUSBまたはeSATAポートに接続してください。

USB/eSATA スケジュールバックアップモジュールのインストールと有効化

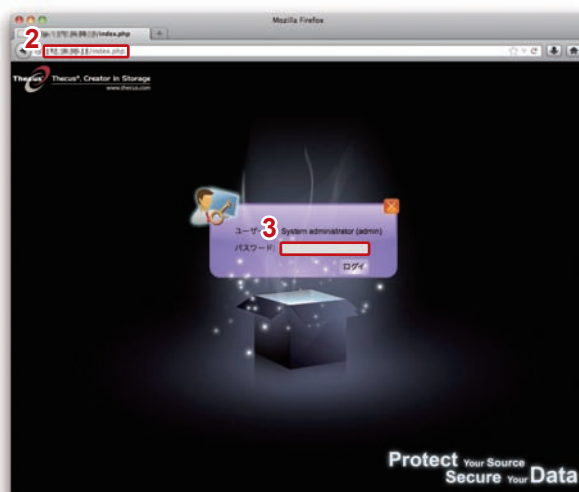
1. 製品に添付されているCDに「USB_eSATA_Schedule_Backup_1.0.3Yt2.app」が入っている事を確認します。モジュールが入っていない場合は、弊社Webサイトよりダウンロードしてください。

http://www.yano-sl.co.jp/download/soft/nas_usb_esata_schedule_backup_v103y.html

- ※「USB_eSATA_Schedule_Backup_1.0.3Yt2.app」は「USB_eSATA_Schedule_Backup_1.0.3Yt2」フォルダーに入っています。

ログイン

2. WebブラウザでNASのIPアドレスをアドレスバーに入力します。
3. パスワードを入力してadmin画面にログインします。



メニュー

- 「モジュール管理」から「モジュールのインストール」をクリックします。



ホーム>モジュール管理>モジュールのインストール

- ボタンをクリックし、モジュールファイル (USB_eSATA_Schedule_Backup_1.0.3Yt2.app) を選択します。
 - 「インストール」ボタンをクリックします。
確認メッセージが表示されるので、「Yes」をクリックします。
 - インストールが開始されます。
 - 右側の【モジュール管理】の中に表示されている「Usb_eSATA_Backup」のアクションボタン「▶」をクリックします。
確認メッセージが表示されるので、「Yes」をクリックします。
- ※右側に何も表示されない場合、モジュールを製品添付のCDからインストール、もしくは弊社Webサイトからダウンロードおよびインストールする必要があります。
- ※ダウンロード方法の詳細は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。
- モジュールが有効になり「システムモジュール」に「Usb_eSATA_Backup」が追加されます。

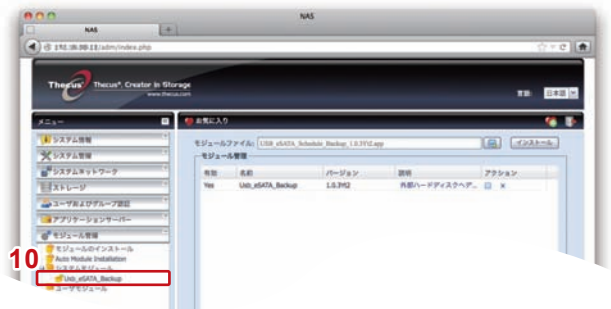


メニュー

- 「モジュール管理」から「システムモジュール」の「Usb_eSATA_Backup」をクリックします。



- バックアップタスクの作成や編集を行う為の新しいウィンドウが開きます。



バックアップの作成／実行／編集／削除／復元

■タスクを作成し、バックアップを実行する

新規ウィンドウ

1. 「追加」をクリックします。



2. 以下の内容をそれぞれの項目に入力します。

タスク名	バックアップ管理用の名称を入力します。
コメント	バックアップの注釈を入力します。 (入力必須項目ではありません)
ターゲットデバイス (USB/eSATA機器)	USBもしくはeSATAで接続しているバックアップ先のハードディスクを選択します。
バックアップ方法	完全一致バックアップの場合は【同期】、増分バックアップの場合は【差分】を選択します。
バックアップ元の共有フォルダー	バックアップ元の共有フォルダーを選択します。

3. 自動設定を行う際は以下の項目を入力します。

スケジュールの有効/無効	「有効」を選択します。
開始時間	開始時刻を設定します。(24時間表示)
バックアップ周期	バックアップ間隔を【毎日】と【毎週】と【毎月】から選択します。

4. すべての項目を入力後、「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

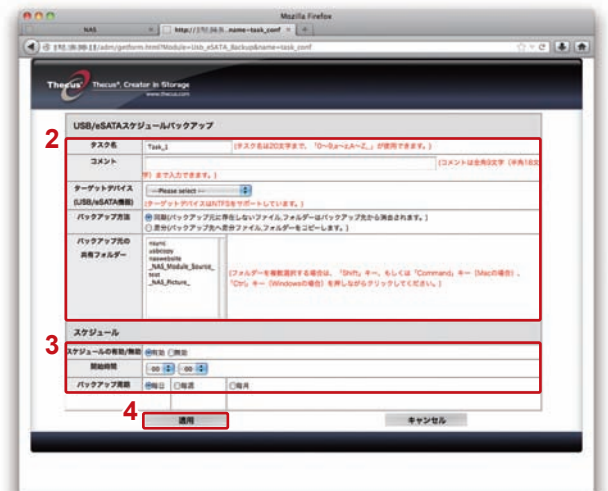


5. トップ画面にタスクが追加されました。

アクションボタン「▶」をクリックするとバックアップが実行されます。バックアップを途中で停止する場合は「□」をクリックしてください。バックアップの進捗状況および結果については「最終ステータス」で確認できます。

※3.でスケジュールを設定している場合は自動的にバックアップが開始されますので、手動で実行する必要はありません。

※タスクを複数作成して同時に実行できますが、バックアップ時間が増えると共に全体のパフォーマンスが低下します。
できる限り作業時間をずらしてそれぞれのタスクを実行してください。



■タスクを編集する

新規ウインドウ

1. 編集するタスクのチェックボックスにチェックをします。
2. 「編集」をクリックします。

3. タスクの詳細画面が表示されるので、内容を変更して「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

※「タスク名」「ターゲットデバイス」「バックアップ元の共有フォルダー」は編集できません。

4. タスクの変更内容が反映されます。



■バックアップしたデータを本体側の共有フォルダーに復元する

1. 復元先となるNASの共有フォルダーを確認します。

※バックアップしたフォルダーと同じ名前/パブリック設定にしてください。

※共有フォルダーが存在しない場合は作成してください。

新規ウインドウ

2. 復元するタスクのチェックボックスにチェックをします。

※タスクが表示されない場合は、P5を参照しタスクのアップロードを行ってください。

3. 「復元」をクリックします。

4. 確認メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

5. 復元が実行されます。

※同じ名前の共有フォルダーがNASに存在しない場合、復元はエラーとなります。

※バックアップを行ったタスクが一覧にない、もしくは選択できない場合、復元できません。

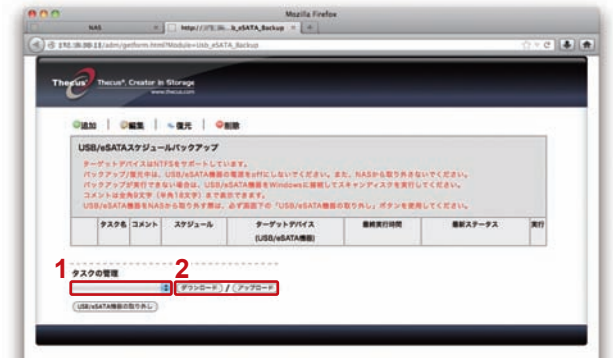
※「タスクをダウンロード/アップロードする」をご参照ください。



■タスクをダウンロード／アップロードする

作成したタスクの設定をUSB/eSATA機器にダウンロードしたり、あらかじめダウンロードしていた設定をアップロードできます。誤ってタスクを削除してしまったり、RAIDが故障してしまう前に、タスクの設定をあらかじめダウンロードしておく、万が一の際にもアップロードして設定を復元できます。

- ・ダウンロード: NASからUSB/eSATA機器にタスクの設定をダウンロードする。
- ・アップロード: USB/eSATA機器からNASにタスクの設定をアップロードする。



新規ウインドウ

1. 対象となるUSB/eSATA機器を選択します。
2. 「ダウンロード」もしくは「アップロード」ボタンをクリックします。
3. 確認ダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。
4. タスクがダウンロード／アップロードされます。
(ダウンロード/アップロードが完了すると、画面左上に「タスク情報をダウンロード(または、アップロード)しました。」と表示されます。)

※アップロード時には、タスクの一覧が更新されますが、ダウンロード時には、見た目の変化はありません。

■タスクを削除する

注意: タスクを削除すると、あらかじめタスクをダウンロードしていない場合はそのタスクの復元ができなくなりますのでご注意ください。

新規ウインドウ

1. 削除するタスクのチェックボックスにチェックをします。
2. 「削除」をクリックします。

3. 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。
4. タスクが削除されます。



USB/eSATA機器をNASから取り外す

USB/eSATA機器をNASから取り外す際は、下記の手順で操作してください。

新規ウインドウ

1. クライアントコンピューターにUSB/eSATA機器の共有フォルダーがマウントしていないことを確認します。
2. アンマウントするボリュームを選択します。
3. 「USB/eSATA機器の取り外し」ボタンをクリックします。
4. 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。
5. 画面左上に「USB/eSATA機器を取り外しました。」と表示されます。
6. 接続解除されたUSB/eSATA機器をNASから取り外します。

※eSATAの接続を解除した時、admin画面>ストレージ>ディスク情報の画面には接続情報が残っていますが、そのまま取り外して問題ありません。

※USB/eSATA機器を再度NASに接続する場合は、取り外し後30秒以上経過してから接続してください。(接続解除が反映される前に再度接続すると、正常に認識されません。)

※USB/eSATA機器がモジュール画面に表示されない場合はNAS本体を再起動してください。



バックアップしたデータを確認する

直接PCに接続すると、文字化けやリソースフォークが欠けてファイルの中身が正常に見えない可能性があります。緊急時を除き、NASに接続したまま共有フォルダーとしてデータにアクセスしてください。